

鎌倉公園～農にふれあうエリア～に関する意見交換会  
参加者から出された意見

日時：12月17日（金）午後6時30分から8時まで 参加者3名  
18日（土）午前10時から11時30分まで 参考者9名

会場：小川町二丁目地域センター 集会室

鎌倉公園整備基本計画について
・いつまでにどのように公園整備計画が進められるのか、数値目標やスケジュールを教えてください。
・市で農地を取得して維持して欲しい。
・子どものときに農体験したことは鮮明に残っている。
・この公園は市でどのような位置づけがあるのか、説明してほしい。
・農業公園を整備する意義は何か。
・小平市はホッとする緑や農地が身近にある。地場産の野菜はとても美味しい。農業を取り巻く現状が厳しいのもよく理解した。
・鎌倉公園は農の風景を残し、農地として維持していく意義があると理解した。コミュニケーションのスポットになると良い。
・公園の運営管理は誰が担うのか。自治体か、JAか、NPOか
・市民の意見が通り、しっかり任せられる団体に公園を運営管理してほしい。
・公園に防災機能もあるなら、かまどベンチを活用して調理が出来るといい。
・農福連携の運営形式を取り入れられないか。
・市内の作業所などとも連携してもらいたい。
・公園の維持管理は誰がするのか。指定管理か、民間か？
小平市の農業施策について
・農業は担い手を確保するのが大変という状況を理解した。
・23区から引っ越してきて、空が広がる小平市の風景にホッとする。グリーンロードも歩くととても癒される。農地が少しでも残されてほしいと思う。
・農地をどのように残していけるか興味がある。市内の体験農園で指導を受けているが、農産物の新鮮さに驚いている。農地が減らずに残っていてほしい。
・農業は大変な仕事だ。自分はこんな大変なことは出来ない。
・自分が野菜を食べるときは近所で育つ野菜を食べたい。
・農の風景を残すための鎌倉公園であってほしい。ホッとする場所として整備してほしい。

## 鎌倉公園農にふれあうエリアについて

- ・実家の山梨は果樹農家であるが、自治体がブランド化の推進など、主導権を持っているように感じる。
- ・ただ作物を作るのではなく、きちんとした出来の良いものを作ってほしい。
- ・市の代表的果樹の梨やブルーベリー、ブドウをこれからも絶やしてほしくない。
- ・子どもが学童農園の授業の一環で、しっかりした大きな大根を収穫してきた。普段はダイコンの料理には見向きもしないが、自分で収穫した野菜は喜んで食べていた。こういう原体験が非常に大事だから、栽培や収穫体験はメニューに入れてほしい。
- ・体験事業で足が汚れるから、足洗場や、足湯を作ってほしい。
- ・子どもが興味をもつのは作物が育つ過程よりも収穫体験を好む傾向がある。育つ過程は見向きもしないことが多いため、収穫まできちんと管理できる団体に運営を任せたい。
- ・収穫した野菜をその場で調理して食べられる設備があると良い。生野菜だけでなく、調理が必要な野菜の栽培もしたい。
- ・乳幼児も楽しめる場であってほしい。おむつ替えがさっとできるスペースなどを設置して、小学生以上の遊び方の違う兄弟でも、同じ場で一緒に楽しめる公園であってほしい。
- ・急に雨が降ってきてても凌げるような屋根付きの休憩所があると良い。
- ・水洗い場や泥落とし程度は出来る設備が欲しい。
- ・野菜の栽培体験は、JA で地場産野菜を買えるから必要を感じていない。果樹畑で体験をしたい。
- ・野菜で作る離乳食講座などを開催出来る、会議室などのスペースがあると良い。
- ・ハウス内でイチゴの摘み取り体験をしたい。
- ・様々な年代の人が係わり、とりわけ次代を担う子どもたちの記憶に残るワクワクする体験が出来る場になってほしい。幼少期の記憶は大人になっても鮮明なため、農のある風景を目に焼きつけさせたい。
- ・地場産野菜を買う応援をしたいが、大人はこの公園におしゃれなレストランが出来て食事したいし、喫茶スペースがあると人と集えて嬉しいのが本音だ。
- ・技術を学ぶことのできる援農ボランティアや共同で体験する共同区画があると良い。
- ・農業レストランや市民が農産物を加工できる施設も欲しい。
- ・農業の振興や課題解決できるような場として整備してほしい。
- ・農家レストランでは、公園で栽培された取れたての野菜を提供してほしい。
- ・指導できる人が常駐して、いつでも栽培方法などを教えてほしい。
- ・ビオトープのような水と生物との係わりを体験できる場が、子どもの情操教育上とても大切と思うため、整備してほしい。木陰も休憩場として必要だ。
- ・種まきから収穫まですべて体験し、農家の苦労を体感するのも大事。体験は農業を応援してくれる人が増える。

<p>・住宅地の中に公園を整備するため、北風による土埃対策が必要だ。日あたりを確保しつつ、考慮して整備してほしい。</p>
<p>・農業公園を整備するのであれば、近隣の農家の経営を圧迫しないよう、同じ作物は育てないなどの区分けが必要だ。</p>
<p>・公園の農のエリアの維持管理にボランティアを導入してはどうか</p>
<p>・鎌倉公園で採れた作物を移動販売などで販売してもよい。</p>